

# 諏訪の景気動向

平成29年8月

(平成29年7月末 D・I調査)

平成29年8月31日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

## 諏訪地方の景気動向（平成29年7月末調査）

「平成29年7月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方184社のご協力を得て行った平成29年7月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは20.6となり、大幅改善した前回調査時(平成29年4月末、以下同)の19.6から、さらに改善した。回答全社の20以上のプラスは、平成22年7月調査の36.7以来7年ぶり。製造業の業況判断DIは21.5で、前回の19.3から改善し、全体をけん引している。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは18.9で、前回の20.0からやや悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が10.3(前回8.0)、非製造業は10.4(前回23.3)で、回答全社では10.3(前回13.0)となった。

製造業は、半導体関連や省力化機械関連をはじめ、幅広い業種で受注量の増加傾向が続いている。非製造業は、トップシーズンとなった観光業が、梅雨明け後の天候不順の影響などで「前年同期比」で悪化した。商業は消費マインドが盛り上がりを欠く中で、店舗間競争や天候の影響もあって「3ヶ月前」より悪化した。建設業は、公共工事の発注が少なかった年度当初より改善している。地区内の有効求人倍率は高水準が続き、回答全社の従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて、34.8%が「不足」としている。また、「3ヶ月後」の従業員数は、観光・サービス業と建設業で「過剰」とする企業がなく、ともに43.8%が「不足」と予想している。

製造業の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは前回の20.2から29.4へ改善し、売上DIは前回の19.4から22.2へ改善した。収益性DIも前回の8.1から9.5へ改善した。また、「前年同期」との比較では、業況判断DIは前回の16.1から37.3、受注状況DIは前回の19.3から35.7、収益性DIは前回の8.8から27.8へそれぞれ大幅に改善している。「3ヶ月後」の予想DIは、業況判断が前回の8.0から10.3へ伸びたが、受注状況は4.8で前回と同率となっている。前回悪化した収益性予想は△2.4から3.2へ改善した。受注増加に伴い、原材料の高騰や不足を懸念する企業が増えている。また、経営課題に労働力確保を挙げる企業が多く、従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて35.7%が「不足」としている。労働力の中身も数だけでなく、人材育成や若手従業員の確保、事業承継などが挙がっている。

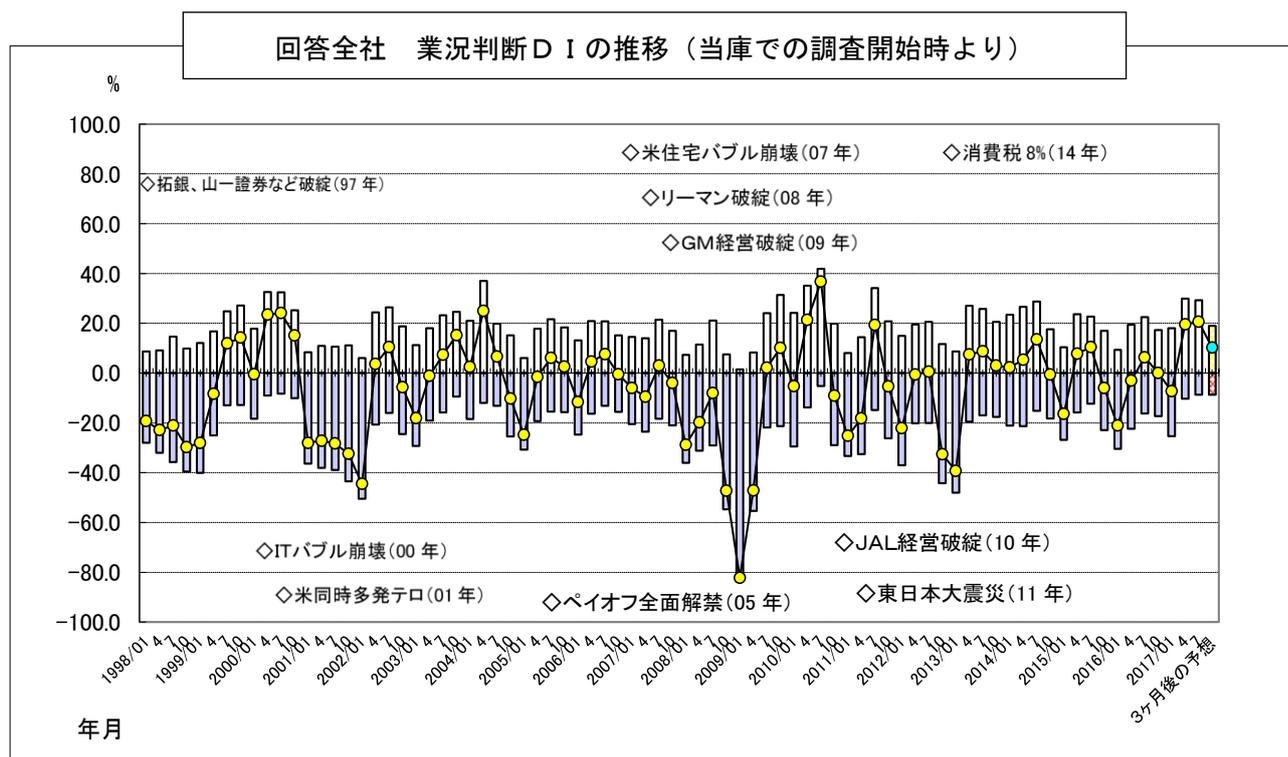
商業は、前回31.2と大幅改善した「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、今回は3.8で横ばいが増えている。来店客数DIは前回の△6.3から0.0へ改善したが、客単価DIは0.0から△15.4、収益性DIは12.5から△7.7へと悪化した。今夏は猛暑予想でエアコンや冷蔵庫、扇風機などはある程度伸びたものの、梅雨上げ後の天候不順が衣料や飲料、暑さ対策商品などの伸びに影響した。従業員数評価は「3ヶ月前」に比べて26.9%が「不足」とし、1人当たり労働時間DIが前回の3.1から19.2と増加している。「3ヶ月後」の予想は業況判断DIが0.0(前回15.6)、売上DIは△7.7(前回15.6)、来客数DIは△11.5(前回6.3)と厳しい見方が多い。消費者の低価格指向は根強く、取扱商品による格差もある。

観光・サービス業は、「前年同期」と比べた業況判断DIは△25.0(前回△41.7)、売上DIは△18.8(前回△50.0)で、宿泊客数DIは△31.3(前回△50.0)と、御柱祭の反動が出た前回に比べると改善しているものの、いずれもマイナス圏内となった。長野県やJRが展開している観光誘客企画の信州ディステーションキャンペーン(信

州DC)は、幹線道路が混んだり、高齢者の来訪が目立つなどの効果は見られるものの、観光客の大幅滞留までには至らず、天候不順が水を差した。従業員数評価は50%の企業が「不足」とし、夏季繁忙期のアルバイト要員の確保ができず、社員の残業や時差勤務などで対応している企業もある。「3ヶ月後」の業況判断予想DIは31.3(前回66,7)で、天候の回復や信州DC効果が期待されている。

**建設業**は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは12.5で、前回調査の△6.3から改善した。受注状況DIも国や県の公共工事の発注がなかった前回の△12.5から6.3と改善した。「3ヶ月後」の業況予想DIは6.3(前回6.2)で前回と同様。受注予想DIも前回同様の0.0と横這いで推移する見方が多い。従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて25%が「不足」としている。諏訪地方の平成29年6月の新設住宅着工戸数は107戸で、前年同月比4戸増加(3.9%)した。平成29年4~6月の累計着工戸数は310戸で、前年同期比20戸増加(6.9%)した。平成29年4~7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は37件、1,040百万円で、前年同期比件数は5件増加し、契約金額は464百万円減少(△30.9%)した。7月の市町村からの受注工事は、合計66件、688百万円で、前年同月比件数は20件減少し、契約金額も267百万円減少した。

**雇用状況**は、平成29年6月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.22ポイント上回り、前月を0.08ポイント上回る1.57倍となった。1倍台は39ヶ月連続。長野県も1.57倍で、全国は1.51倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が1,848人で前年同月比267人増加(16.9%)した。新規求職者数は723人で前年同月比36人減少(△4.7%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、建設業で83.6%、医療・福祉業で31.3%増加し、運輸業で23.2%減少した。求人の要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順となっている。1件10人以上の人員整理は1件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は38人で、前年同月より6人増加、前月より7人増加した。



## 業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(184社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が29.3%、「横這」企業が62.0%、「悪化」企業が8.7%で20.6となった。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは13.0だったが、予想より「悪化」企業が少なかった。

製造業は、「好転」企業が前回の28.2%から28.6%へ0.4ポイント増加し、「悪化」企業は8.9%から7.1%へ1.8ポイント減少した。非製造業は、「好転」企業が前回の33.3%から31.0%へ減少したが、「悪化」企業も13.3%から12.1%へ減少した。観光・サービス業の業況判断DIは50.0で25.0ポイント改善した。商業は前回の31.2から3.8へ悪化し、建設業は12.5で前回の△6.3より改善した。

産業別業況表

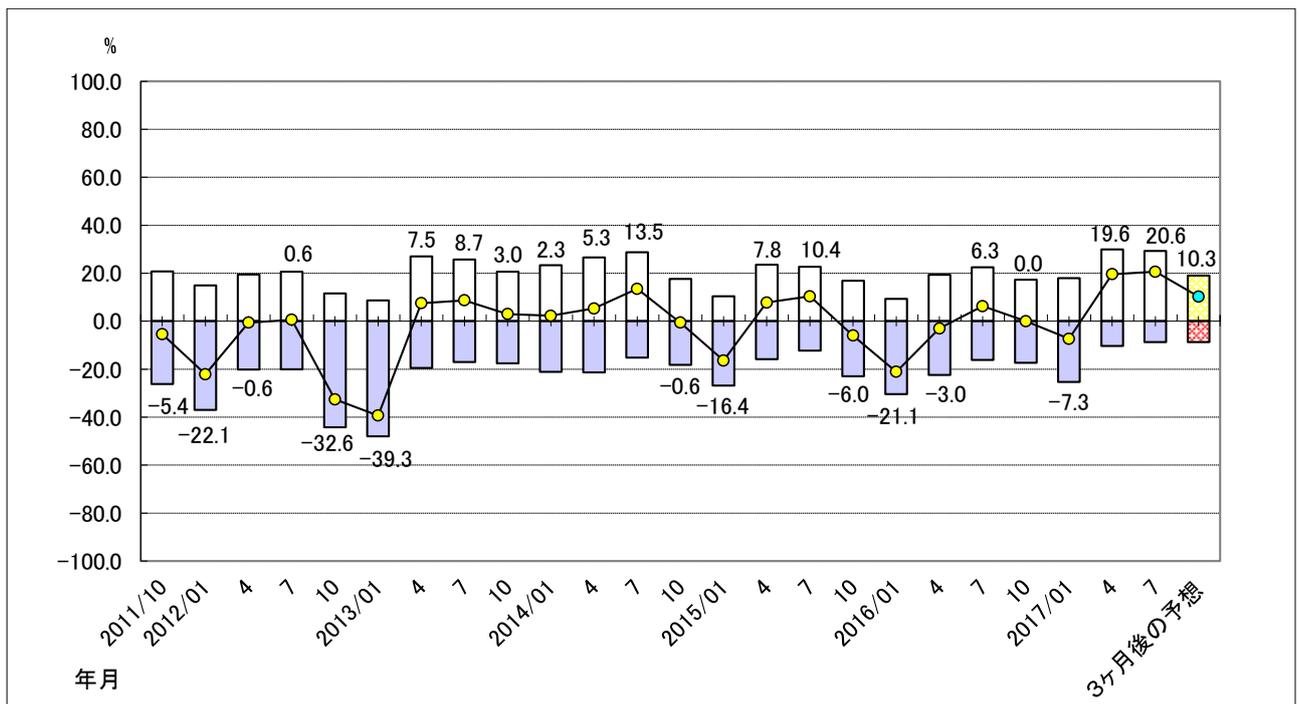
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	184	29.3	62.0	8.7	20.6	184	39.7	45.1	15.2	24.5	184	19.0	72.3	8.7	10.3
製造業	126	28.6	64.3	7.1	21.5	126	46.0	45.2	8.7	37.3	126	19.0	72.2	8.7	10.3
非製造業	58	31.0	56.9	12.1	18.9	58	25.9	44.8	29.3	-3.4	58	19.0	72.4	8.6	10.4
商業	26	19.2	65.4	15.4	3.8	26	30.8	42.3	26.9	3.9	26	11.5	76.9	11.5	0.0
建設業	16	12.5	87.5	0.0	12.5	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	6.3	93.8	0.0	6.3
観光・サービス	16	68.8	12.5	18.8	50.0	16	18.8	37.5	43.8	-25.0	16	43.8	43.8	12.5	31.3

## 自社業況判断DIの推移

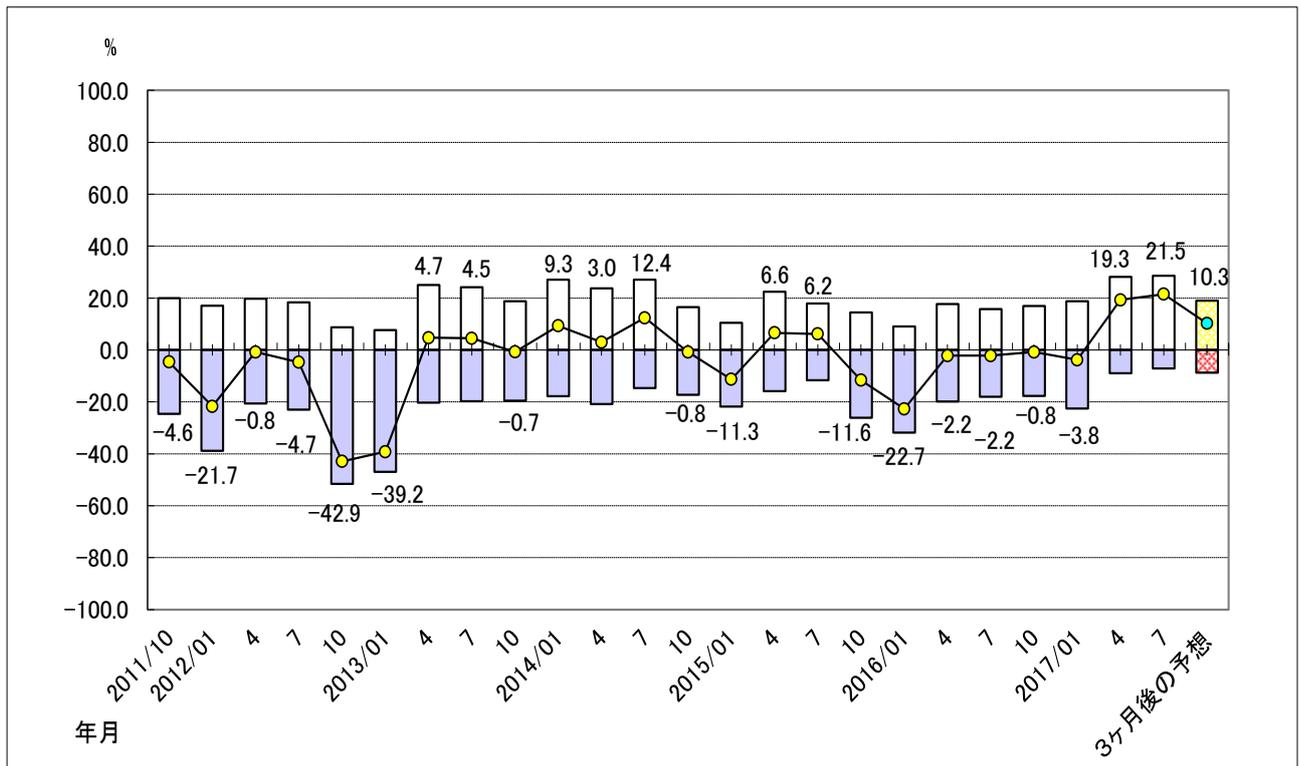
### ● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



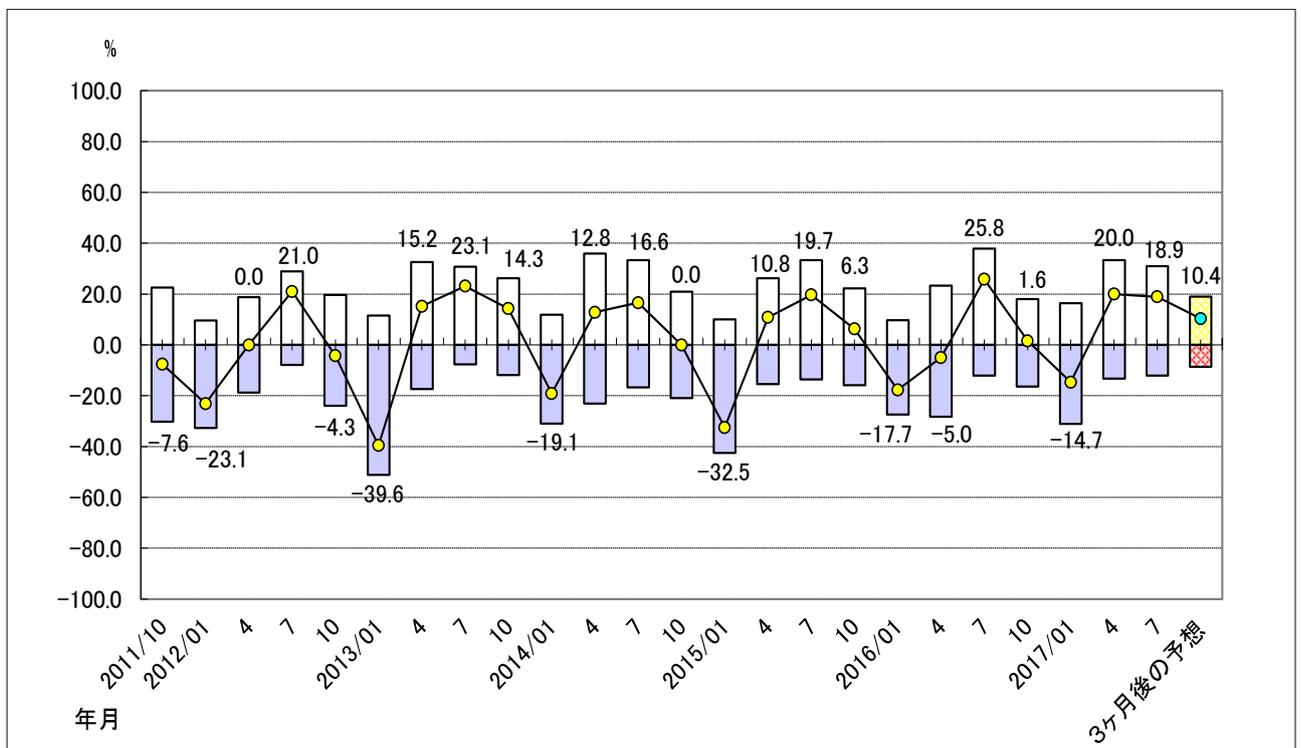
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



# 産業別景気動向

## 1. 製造業

業況判断DIの「3ヶ月前比」の21.5は回答全社同様、平成22年7月調査の38.9以来の高水準となった。「前年同期比」では37.3と前回の16.1から21.2ポイント改善した。「3ヶ月後」の予想は10.3で好転予想の企業が増え、前回の8.0から2.3ポイント改善した。

設備投資DIは、「3ヶ月前」に比べて12.7で前回の13.7より悪化したが、受注量増加や人手不足などへの対応で、設備投資を予定する企業が増えている。「前年同期比」も前回の14.5から19.1へ改善している。「3ヶ月後」の予想DIは16.6で、前回の8.8から改善し、特に「100人以上」規模の企業は増加予想が43.8%と多い。一方で、景気の持続性への懸念から、増員に慎重姿勢の企業もある。

収益性DIは、「3ヶ月前比」で9.5と前回の8.1から1.4ポイント改善し、「前年同期比」は前回の8.8から27.8へ19.0ポイント改善した。前回悪化した「3ヶ月後」の予想は3.2で、前回の△2.4から改善している。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「精密機械」が21.5(前回△8.4)と改善し、「金属製品」が44.4(同46.7)、「輸送用機械」は14.3(同38.5)、「電気機械」が12.0(同24.0)、「一般機械」は18.7(同21.9)とやや悪化した。

「前年同期比」では、「金属製品」が88.9(前回80.0)、「輸送用機械」が57.1(同46.1)、「一般機械」は21.9(同12.5)、「電気機械」が28.0(同4.0)、「精密機械」は50.0(同0.0)と全業種で改善した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「一般機械」が9.4(前回9.4)と同率で、「金属製品」は16.6(同△6.7)、「輸送用機械」が14.3(同7.7)、「電気機械」は12.0(同4.0)と改善が見込まれ、「精密機械」は7.1(同33.3)と悪化予想が増えている。

日本とEUの経済連携協定の大枠合意、英国や仏国での将来的なガソリン、ディーゼル車の販売禁止発表、国内大手自動車メーカーの提携など新たな動きがあり、その行方が注視されている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	126	28.6	64.3	7.1	21.5	126	46.0	45.2	8.7	37.3	126	19.0	72.2	8.7	10.3	
規模	1~29人	67	26.9	68.7	4.5	22.4	67	41.8	49.3	9.0	32.8	67	10.4	76.1	13.4	-3.0
	30~99人	43	32.6	55.8	11.6	21.0	43	51.2	39.5	9.3	41.9	43	25.6	69.8	4.7	20.9
	100人~	16	25.0	68.8	6.3	18.7	16	50.0	43.8	6.3	43.7	16	37.5	62.5	0.0	37.5
分類	金属製品製造業	18	50.0	44.4	5.6	44.4	18	88.9	11.1	0.0	88.9	18	22.2	72.2	5.6	16.6
	一般機械器具製造業	32	28.1	62.5	9.4	18.7	32	31.3	59.4	9.4	21.9	32	18.8	71.9	9.4	9.4
	電気機械器具製造業	25	24.0	64.0	12.0	12.0	25	40.0	48.0	12.0	28.0	25	20.0	72.0	8.0	12.0
	輸送用機械器具製造業	14	14.3	85.7	0.0	14.3	14	57.1	42.9	0.0	57.1	14	21.4	71.4	7.1	14.3
	精密機械器具製造業	14	28.6	64.3	7.1	21.5	14	50.0	50.0	0.0	50.0	14	7.1	92.9	0.0	7.1

## ① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

### ● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて44.4で、大幅改善した前回調査時の46.7からは悪化したが、好転企業が多い。「前年同期比」も88.9(前回80.0)と改善が続いている。「3ヶ月後」の予想は16.6(前回△6.7)と好転予想の企業が増えている。半導体、省力化機械、自動車をはじめ、多方面からの受注が増加傾向となっている。今後の増産予定もあり、当面堅調に推移する見込みを持つ企業が多い。

### ● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて18.7で、前回の21.9より悪化したものの、高水準で推移している。「前年同期比」も21.9で、前回の12.5から改善している。「3ヶ月後」の予想は9.4で前回と同率だった。国内の設備投資が回復基調となり、人手不足も深刻化していることから、省力化機械の需要は一層高まると見られ、好調な受注が続いている。受注残高がバブル期のピークを上回った企業もある。半導体関連も引き続き好調で、自動車関連の受注も活発化している。先行きが期待できる情報や見積もり依頼、問い合わせが多い。ただ、材料不足で納期まで時間を要する案件も増加傾向となっている。

### ● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前比」で12.0と前回の24.0から悪化したが、「前年同期比」では28.0と前回の4.0から改善している。「3ヶ月後」の予想は12.0で前回の4.0から改善した。半導体製造装置関連は中国の格安スマホ向けや新型iPhone向けなどが好調。工作機械向けの制御装置なども自動化に伴う受注が増加している。

### ● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて14.3で、前回の38.5から悪化した。「前年同期比」では57.1で、前回の46.1から改善している。「3ヶ月後」の予想は14.3で、前回の7.7から改善している。自動車部品関連は急速に回復している。農業機械は、農業の近代化が進む新興国向けで受注が増加し、船外機も世界的な需要過多で堅調に推移している。減速機は産業機械や省力化機械向けで安定している。これまで慎重だったが、自社の設備投資が本格的にできる受注状況になったとする企業がある。

### ● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて21.5で、前回の△8.4から大幅に改善した。「前年同期比」も50.0(前回0.0)で改善した。「3ヶ月後」の予想は7.1(前回33.3)で、慎重な見方が増えている。自動車関連の光学部品は堅調で、当初予定を上回る企業もある。機械化や数値化ができていく研磨加工技術がある企業の受注は旺盛となっている。

## ② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の13.2から22.4へ改善し、「30～99人」規

模は前回の30.8から21.0へ悪化、「100人以上」規模は前回の17.6から18.7へ改善した。「前年同期比」は「1～29人」規模が32.8で前回の10.3から改善し、「30～99人」規模が41.9で前回の18.0から改善し、「100人以上」規模も43.7で、前回の35.3から改善した。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模が△3.0で前回の1.4より悪化した。「30～99人」規模は20.9で前回の12.8から改善し、「100人以上」規模は37.5で前回の23.5より改善している。

### ③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業39.7%、「減少」企業10.3%で29.4と、前回調査時の20.2からさらに改善している。「前年同期比」も36.7で前回の19.3から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は前回の4.8と同率となっている。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は28.3で、前回の11.8から改善した。「30～99人企業」は27.9で、前回の35.9から悪化し、「100人以上企業」は37.5で前回の17.6から改善している。「前年同期比」では「1～29人企業」が28.4で前回の11.7から改善した。「30～99人企業」は41.9で前回の25.7から改善し、「100人以上企業」も50.0で前回の35.3から改善した。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が△11.9で前回の△7.3から悪化し、「30～99人企業」も前回の20.5から18.6とやや悪化予想が増えた。「100人以上企業」は37.5で前回の17.6から好転予想が多くなっている。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前比」は、「金属製品」が前回の40.0から55.5、「精密機械」は8.3から28.6、「電気機械」は20.0から24.0と改善し、「一般機械」は18.7から15.7、「輸送用機械」は38.5から28.6へ悪化した。「前年同期比」は、「輸送用機械」は38.4から64.3、「一般機械」は15.6から21.9、「精密機械」は8.3から42.9、「電気機械」は8.0から36.0へ改善し、「金属製品」が86.7から72.2へ悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「金属製品」は0.0から5.5、「一般機械」は△12.5から3.2、「輸送用機械」は15.4から21.5へ改善し、「精密機械」が前回の33.3から7.1、「電気機械」は8.0から4.0へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

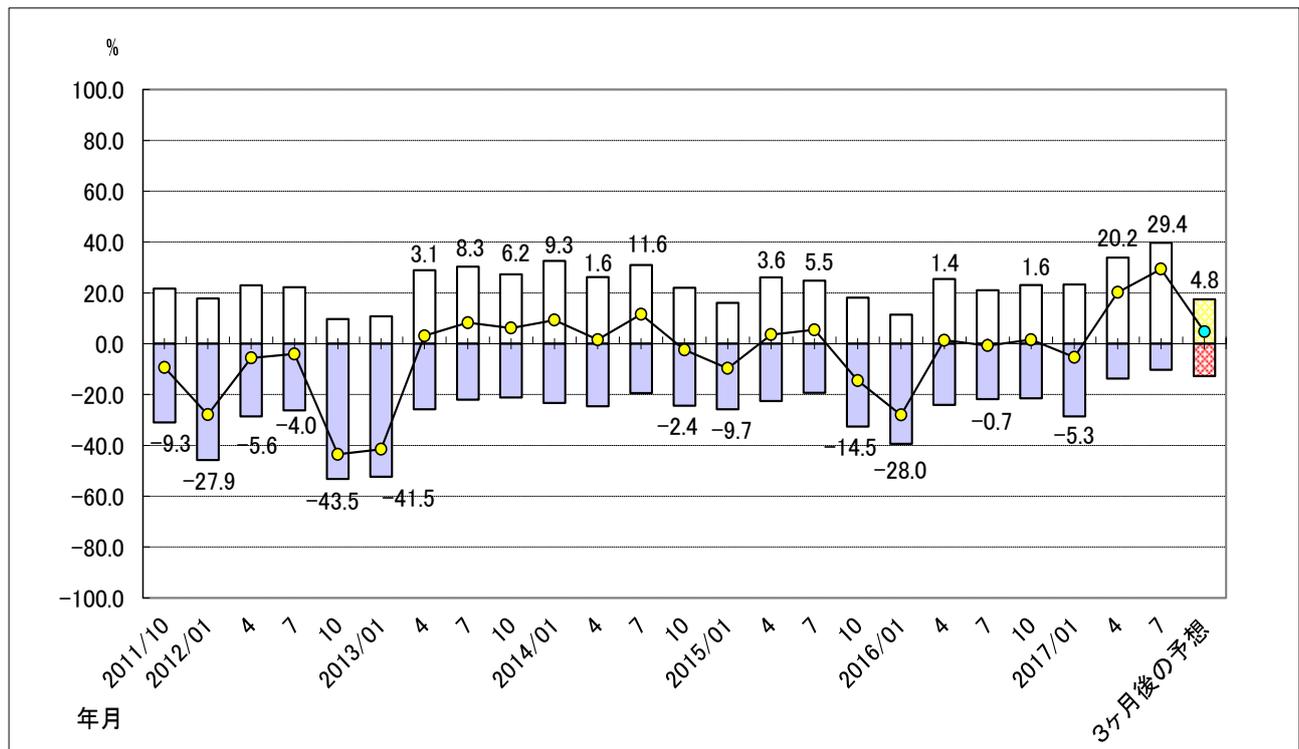
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	126	39.7	50.0	10.3	29.4	126	47.6	40.5	11.9	35.7	126	17.5	69.8	12.7	4.8	
規模	1～29人	67	37.3	53.7	9.0	28.3	67	43.3	41.8	14.9	28.4	67	7.5	73.1	19.4	-11.9
	30～99人	43	41.9	44.2	14.0	27.9	43	51.2	39.5	9.3	41.9	43	25.6	67.4	7.0	18.6
	100人～	16	43.8	50.0	6.3	37.5	16	56.3	37.5	6.3	50.0	16	37.5	62.5	0.0	37.5
中分類	金属製品製造業	18	61.1	33.3	5.6	55.5	18	72.2	27.8	0.0	72.2	18	22.2	61.1	16.7	5.5
	一般機械器具製造業	32	31.3	53.1	15.6	15.7	32	37.5	46.9	15.6	21.9	32	18.8	65.6	15.6	3.2
	電気機械器具製造業	25	40.0	44.0	16.0	24.0	25	52.0	32.0	16.0	36.0	25	16.0	72.0	12.0	4.0
	輸送用機械器具製造業	14	28.6	71.4	0.0	28.6	14	64.3	35.7	0.0	64.3	14	28.6	64.3	7.1	21.5
	精密機械器具製造業	14	35.7	57.1	7.1	28.6	14	42.9	57.1	0.0	42.9	14	7.1	92.9	0.0	7.1

製造業の受注状況DIの推移

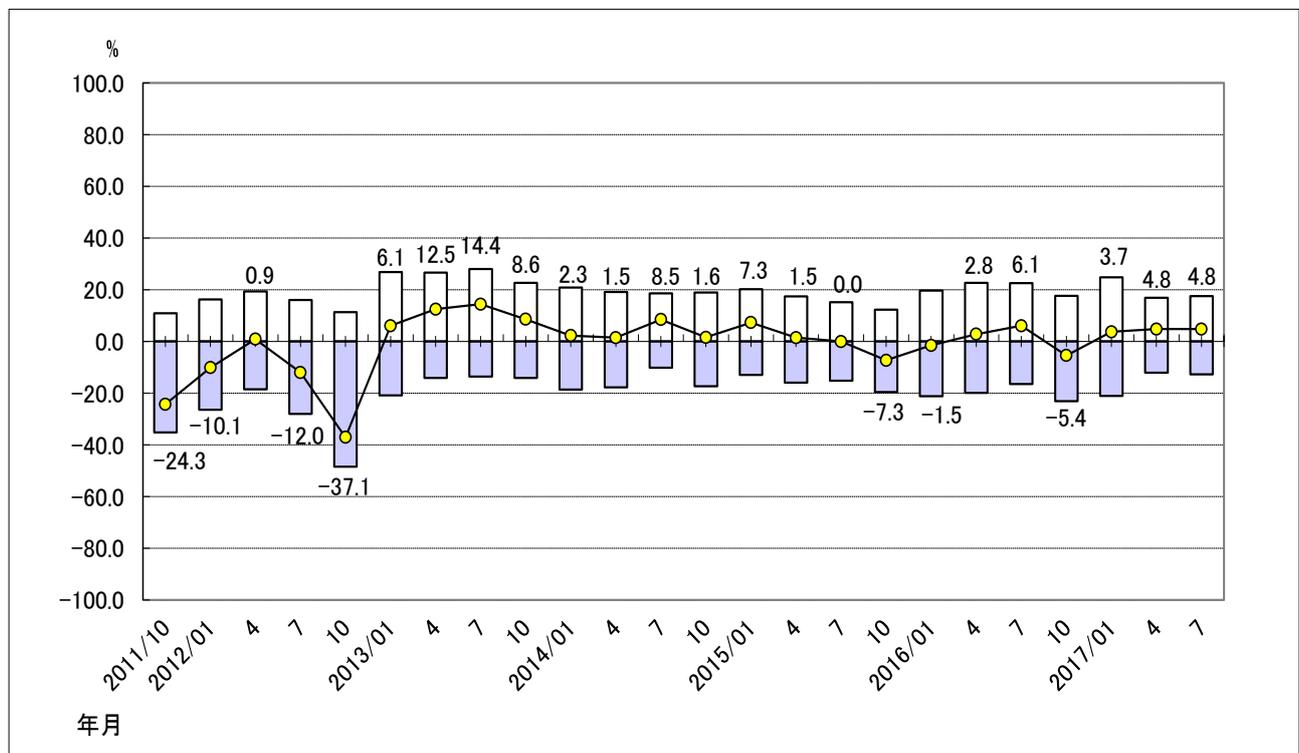
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



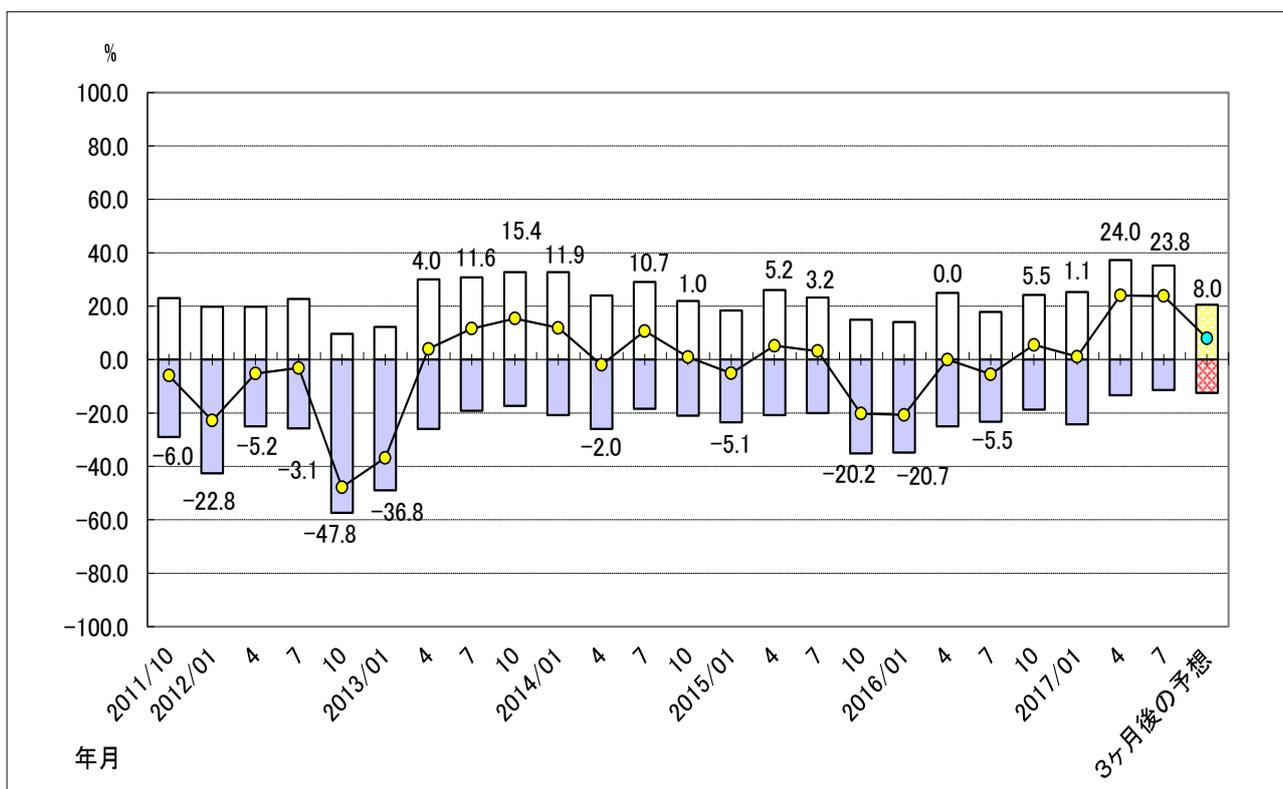
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



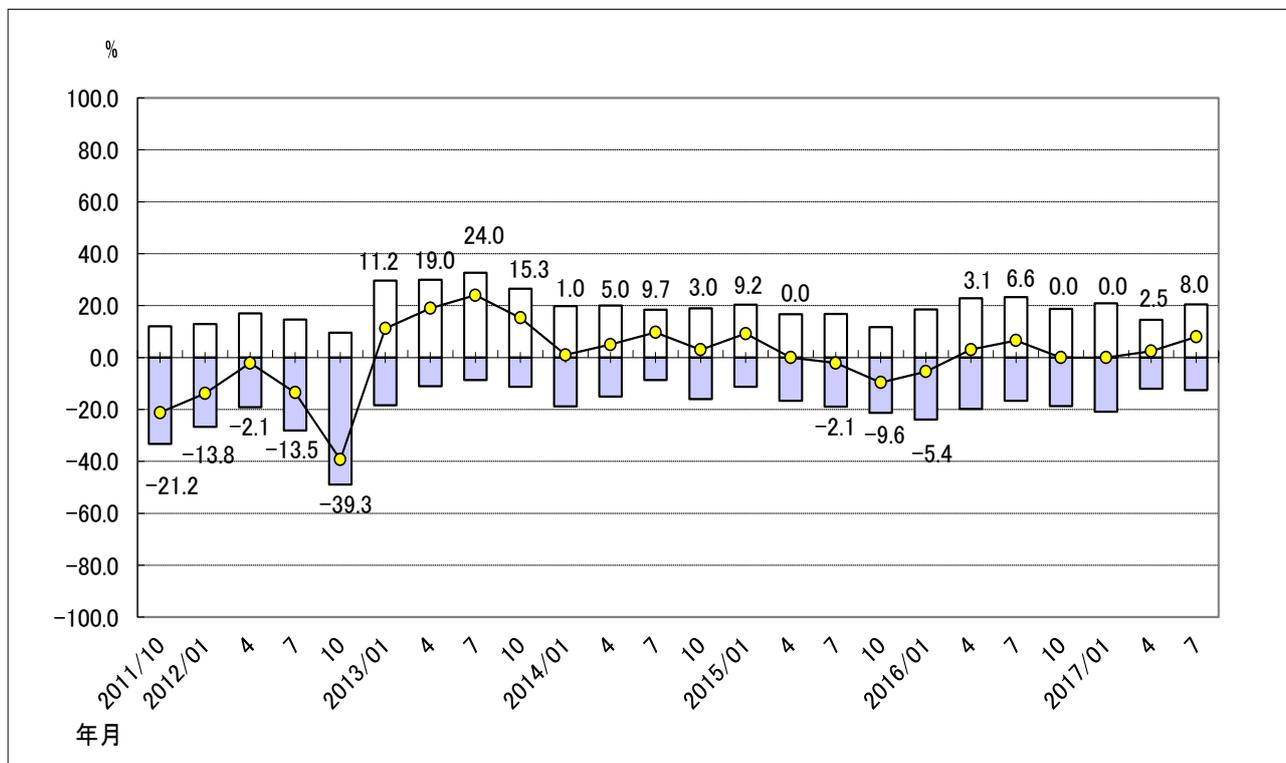
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



## 商業・観光サービス業

### ① 商業

前回は「3ヶ月前比」の売上、客単価、収益性の各DIが改善したが、今回は悪化した。諏訪地方では、取扱商品や店舗によって大きな差があり、来店客数が減少し停滞感がある店舗の半面、1人当たりの客単価や購入点数が増加し、消費の上向きを感じる店舗がある。ネット通販の影響を受ける店頭販売もある。

- 食料品 青果の価格は安定し品質も改善しているが、長雨による秋口への影響が懸念される。
- 衣料品 天候不順で寝具などのイベントは低調で、婦人服や子供服も伸び悩んだ。
- 自動車 諏訪地方の7月の車庫証明件数(軽自動車除く)が993件で、前年同月比では107件増加(12.1%)した。今年度に入って毎月、前年同月を上回っている。
- 家電品 気温の上昇とともに、エアコンや冷蔵庫、扇風機の売上が伸びた。
- 靴店 近年は季節感が薄れ、サンダルなどの季節物商品が以前より低調な動きとなっている。
- 飲食店 製造業関係で宴会需要が見られる一方、忙しすぎて飲食に出る時間がないという声もある。夏場のウナギが活況で、過去最高の単月売上となった専門店があった。

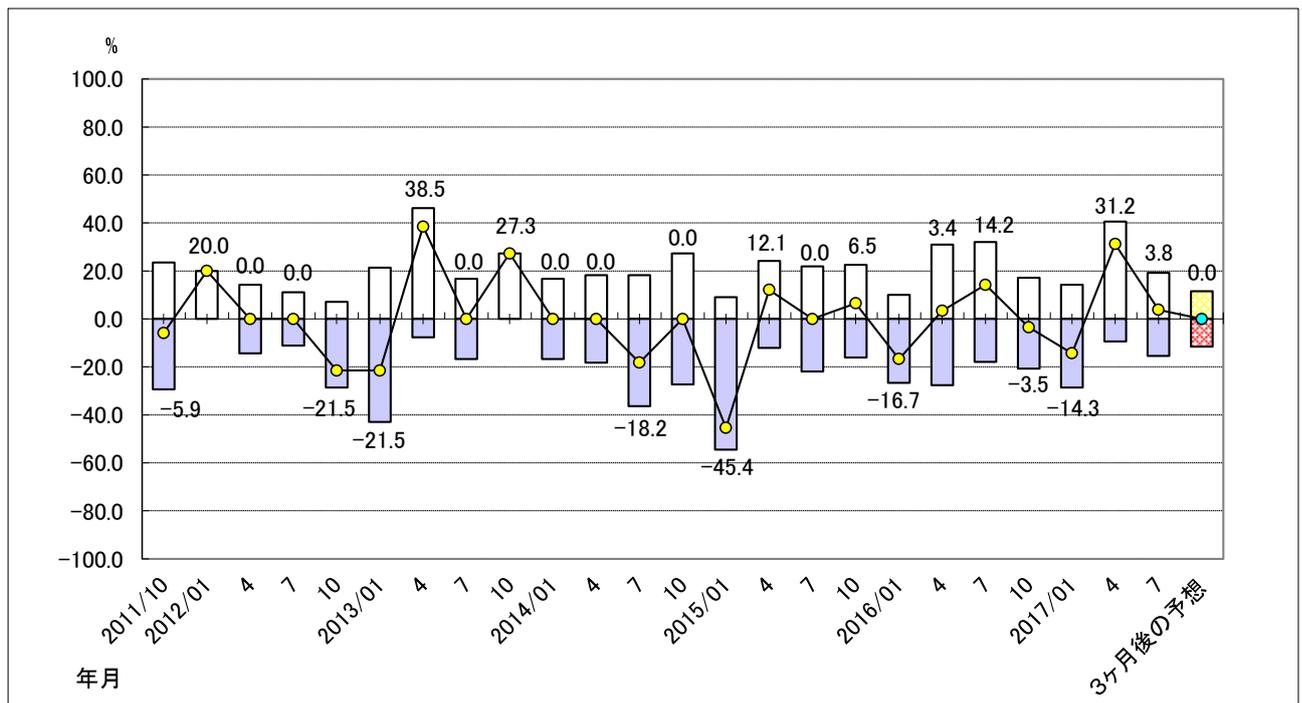
### 業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	26	19.2	65.4	15.4	3.8	26	30.8	42.3	26.9	3.9	26	11.5	76.9	11.5	0.0
客単価	26	7.7	69.2	23.1	-15.4	26	11.5	69.2	19.2	-7.7	26	11.5	73.1	15.4	-3.9
来店客数	26	15.4	69.2	15.4	0.0	26	19.2	57.7	23.1	-3.9	26	15.4	57.7	26.9	-11.5

### ●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



## ② 観光・サービス業

観光シーズン最盛期となったことで「3ヶ月前比」では、宿泊客数DIは50.0と前回の8.4から大幅改善し、客単価DIも50.0(前回8.3)と改善した。「3ヶ月後」は、宿泊客数予想DIが25.0と前回の33.3から悪化し、収益性DIは12.5と前回の58.3から悪化した。一人当たり労働時間は、前回の「3ヶ月後」の予想DIは58.3だったが、今回の「3ヶ月前比」では68.8で、予想を超える増加となっている。

- 上諏訪温泉 7月の宿泊客数は前年同月比で20%台の減少から9%台の増加まで施設によって格差があった。2～4人の個人客が前年を上回り、5～29人の中規模の団体が下回った。前年の大河ドラマの反動などで関東や東海方面の観光客は減少した。
- 下諏訪温泉 埋蔵文化センターが開館し修学旅行生が増加している。
- 蓼科・白樺湖・ ほとんどの施設で「戻り梅雨」が客足に影響し、登山やピクニック客の滞留が低調だった。合宿施設は学生を中心に最盛期となった。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた7月の参拝者数は約5万7千人で、前年同月比約1万人の減少(△15.6%)となった。

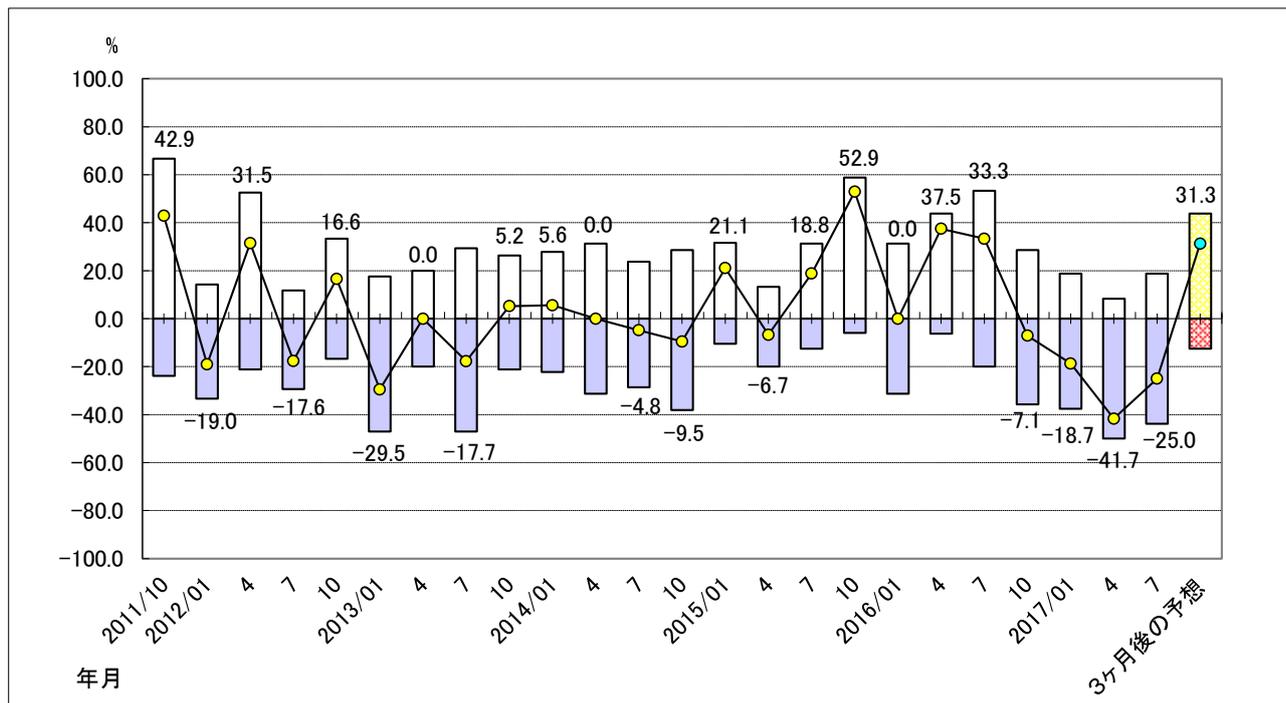
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	68.8	12.5	18.8	50.0	16	18.8	37.5	43.8	-25.0	16	43.8	43.8	12.5	31.3
客単価	16	56.3	37.5	6.3	50.0	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	25.0	62.5	12.5	12.5
宿泊客数	16	68.8	12.5	18.8	50.0	16	12.5	43.8	43.8	-31.3	16	37.5	50.0	12.5	25.0

## ●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



### 3.建設業

「3ヶ月前」と比べて外注発注量DIは0.0で、前回の△6.3から改善した。また、資金繰りDIは前回の0.0から6.2へ改善し、収益性DIも0.0(前回△6.3)で改善した。「前年同期比」では、業況判断DIが6.2で前回の△6.3から改善したが、売上DIは△6.3から△6.2と横ばい状態となっている。受注状況DIは△12.5から0.0へ改善した。「3ヶ月後」の予想DIは、受注状況が0.0で横ばいで、外注発注量は18.8(前回25.0)と悪化している。九州北部災害への予算配分を懸念したり、労働力不足から「現場作業員が高齢化し、熱中症が危険」とする企業もある。

#### ●建築工事

諏訪地方の平成29年6月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市18戸、諏訪市28戸、茅野市33戸、諏訪郡28戸の合計107戸だった。長野県全体の6月の新設住宅着工戸数は1,095戸で、前年同月比7.4%増加した。持家と分譲は2ヶ月連続の増加、貸家は2ヶ月ぶりの減少となった。

#### ●公共工事

地元業者が受注した平成29年7月の国県関係の公共工事は22件、687百万円だった。市町村からの受注工事は、建築工事3件96百万円、土木48件441百万円、その他15件151百万円だった。

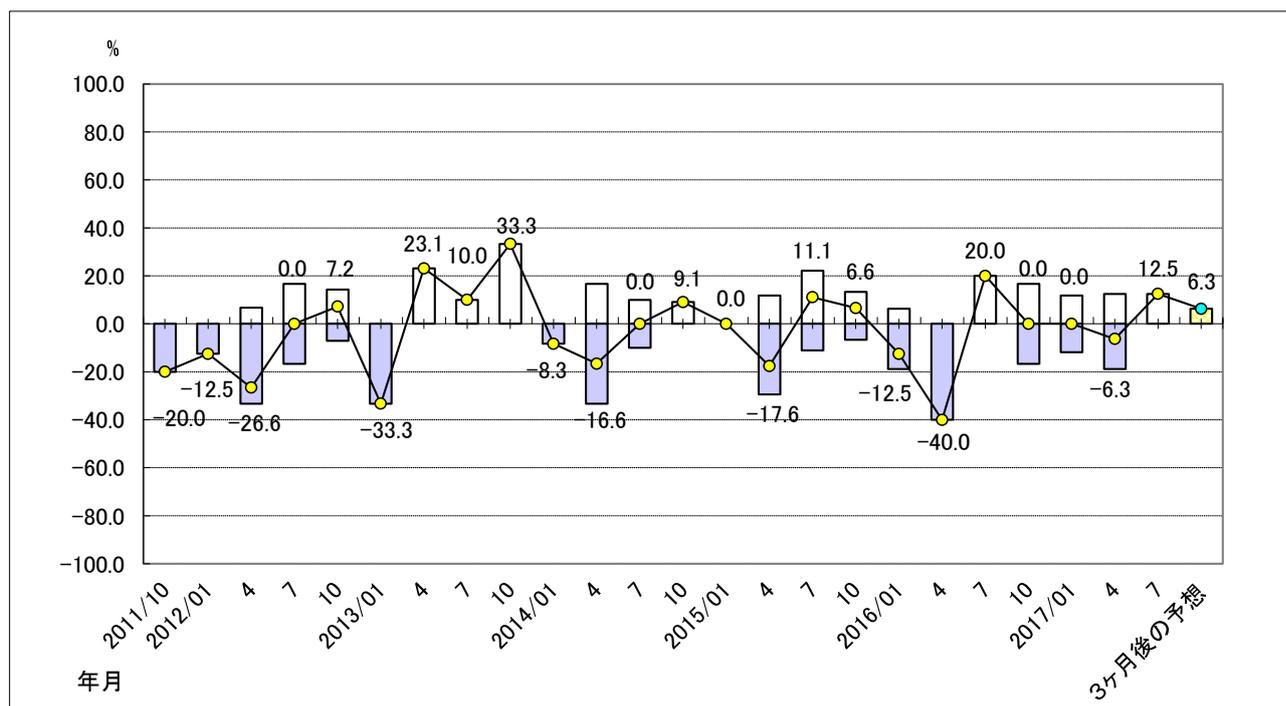
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	12.5	87.5	0.0	12.5	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	6.3	93.8	0.0	6.3
受注状況	16	18.8	68.8	12.5	6.3	16	18.8	62.5	18.8	0.0	16	6.3	87.5	6.3	0.0
外注発注量	16	12.5	75.0	12.5	0.0	16	18.8	56.3	25.0	-6.2	16	18.8	81.3	0.0	18.8

#### ●建設業全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-10



#### 4.収益性状況

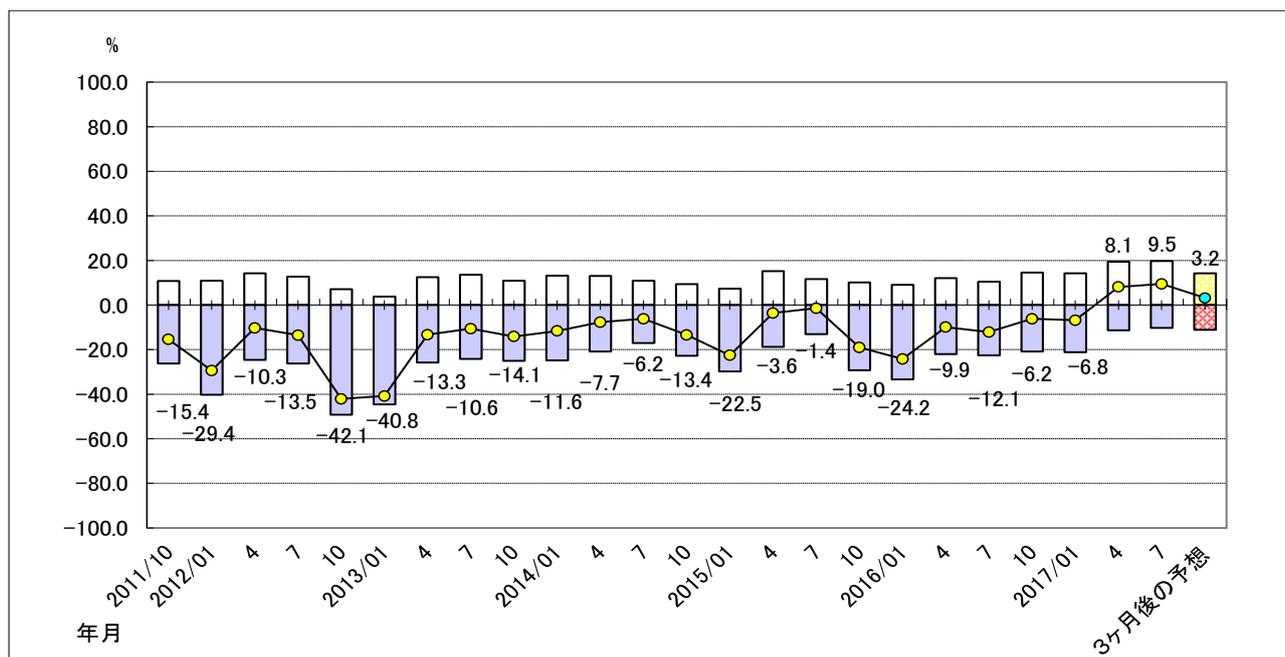
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 20.7%、「悪化」企業 12.0%で、同DIは 8.7と前回調査時の 9.2 からやや悪化した。が、「前年同期比」は 17.4 で、前回の 2.2 より改善している。

「3ヶ月前」と比べて製造業は 9.5 で前回の 8.1 より 1.4 ポイント改善し、非製造業は 6.9 で前回の 11.7 より 4.8 ポイント悪化している。

「3ヶ月前」の予想DIは、製造業が 3.2 で前回の△2.4より改善し、非製造業は 0.0 で前回の 21.7 より悪化している。回答全社では 2.2 で、前回の 5.4 より悪化している。

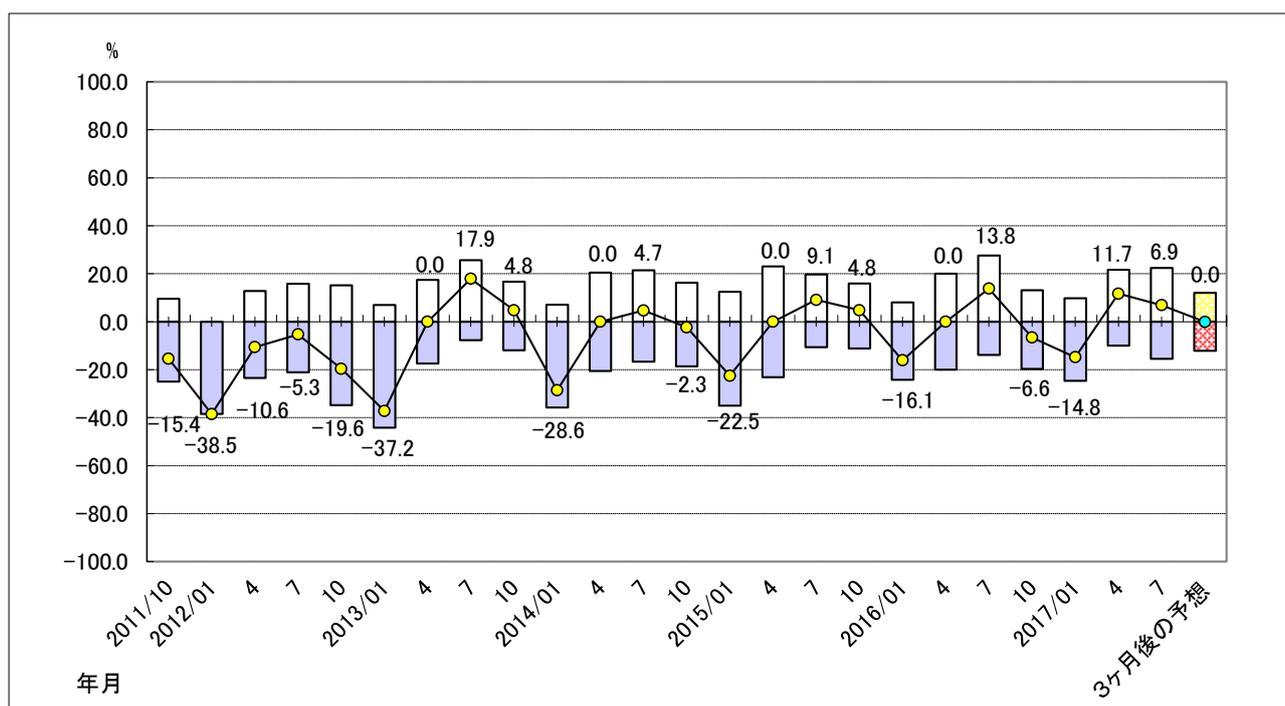
##### ●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



##### ●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



## 5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少②商業は労働力確保と競争激化③建設業は、労働力確保と売上減少、人件費④観光・サービス業は売上減少、人件費、労働力確保となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	53	31	9	5	8
単価引下げ	27	22	2	3	0
競争激化	45	26	11	4	4
資金繰り	34	24	4	3	3
人件費	41	22	6	5	8
労働力確保	93	63	12	10	8

## 6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【6月】	ハローワーク諏訪	1.57倍	0.22ポイント	
手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	4,956枚	706枚	
	金額	5,957百万円	513百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	△6枚
	金額	0千円	△23,528千円	
車庫証明取扱件数【7月】(諏訪地方合計)		993件	12.1%	
新設住宅着工戸数【平成29年4月～6月】(諏訪管内)		310戸	6.9%	

## 7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成29年7月末。
- ② 調査内容 「平成29年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査およびヒアリング調査(約130社)。
- ④ 対象地域 諏訪地域全域。
- ⑤ 業種 製造業、商業、建設業、観光・サービス業。
- ⑥ 回答企業数 184企業。
- ⑦ 回答率 73.6%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	126	26	16	16	184